

市長定例記者会見報告事項概要

令和5年3月23日(木) 午前11時00分～

1. 令和5年度の人事異動について

- 副市長について、議会最終日に、現総務部長の能野英人（のうのえいと）氏を選任していただけるよう、議会に上程することとしている。
- 能野氏は、私が市長に就任して以来、教育部長、地域交流部長、そして現在総務部長として、人事、財政、危機管理などを担当してもらっている。
- 地域交流部長就任の時に申し上げたが、調整力に長けており、その人柄を活かして、これからは、明るく豊かで健やかな防府市の実現のために、私を支えてほしいと思っている。
- 人事異動については、年度当初のスムーズな窓口の対応、また職員の活性化、特に若手職員の活性化の観点から、令和5年度より4月と10月の2回行うこととしている。
- 新採用で入った職員についても、半年後に異動するなど、若い時に多くのところを経験してもらいたい。
- また、学校等の既卒者を採用するため、10月1日採用を導入する。
- 異動者数については、組織改編を除く全体数は362人となり、内訳としては係長以上が198人、主任以下が164人となっている。
- 新たに広報戦略・新庁舎担当の参与として、現総合政策部長の石丸泰三（いしまるたいぞう）氏を登用することとしている。最大の懸案事項だった新庁舎の建て替えに尽力したほか、過去に観光部門の課長もしているので、情報発信の面で、観光と一体となった取組みを期待している。
- 総務部長に現産業振興部長の白井智浩（しらいともひろ）氏を充て、農業の振興や駅前の駐車場一元化で発揮した突破力を、今度は市職員の活

性化に繋げてもらいたい。

- 総合政策部長には、現総務部次長の永松勉（ながまつとむ）氏を充て、今まで培った調整力や行動力を活かしてもらいたい。
- 文化スポーツ観光交流部長には、現地域交流部長の杉江純一（すぎえじゅんいち）氏を充て、新たに文化財を所管するので、防府の誇る 4 つの文化財を観光面に活かしてもらいたい。
- 健康福祉部長には、現教育部次長の石丸典子（いしまるのりこ）氏を充て、新年度大きく変わる国の子育て施策に、持ち前の行動力と教育と連携した取組みを期待している。
- 産業振興部長には、現議会事務局長の藤井一郎（ふじいいちろう）氏を充て、産業振興にかかる関係団体との調整を、これまでの経験や、議会との調整力を活かして行っていただきたい。
- 会計管理者には、現監査委員事務局長の廣中敬子（ひろなかけいこ）氏を充て、議会との調整や、監査委員事務局長としての経験を活かしていただきたい。
- 議会事務局長には、現会計管理者の寺畑俊孝（てらはたとしたか）氏をあて、地域交流部や会計管理者としての経験や、その人柄を生かして、しっかりと議会との調整をしてもらいたい。
- 総合計画を着実に進めることを念頭に、組織を改編する。
- 新たに設置する文化スポーツ観光交流部においては、文化財部門を教育委員会から市長部局に移管し、本市の誇る文化財をまちづくりや観光に積極的に活用し、観光、スポーツ、文化がこれまで以上に連携するように取り組んでいきたい。
- 健康福祉部においては、新たにこども家庭統括室を設置し、部次長級の職として専任のこども家庭統括室長を新たに配置することとし、桑原現

子育て支援課長を充てることとした。

- 地域交流部から総合政策部に地域振興課を移管するほか、法定外公共物など、地域の様々な課題を解決するため、全庁を挙げて取り組むこととし、地域振興推進プロジェクトチームを設置する。
- 亀井政策推進監を中心にスピード感を持って地域の課題解決に取り組んでいきたいと考えている。
- 総合政策部広報広聴課に新たに広報戦略室を設置し、広報戦略の強化を図ることとしている。室長と室員及び、兼務職員が 2 名、そして広報広聴課長、総合政策部参与の石丸氏を担当としている
- 女性登用については、健康福祉部長に石丸典子氏を、会計管理者に廣中敬子氏を登用することによって、初めて同時に部長級が 2 名という体制となった。
- 部次長級についても、産業振興部次長に現産業振興部参事兼農林水産振興課長の岡田元子氏を抜擢し、選挙管理委員会事務局長に現市民課長の須藤千鶴氏を登用することとした。
- また、課長級では、政策推進課長に磯邊範子氏を登用することとしている。
- 新たに課長となる 11 人中 5 人が女性で、要の政策推進課長は、次の総合計画に向けて、準備に入る段階となっており、今度は女性の視点も入れて、取りかかっている。
- 将来の管理職の候補となる補佐級の女性職員も広報戦略室長に岩田宏美氏を登用するなど、今年度の 28 人から 33 人となっている。
- 新たに課長補佐になる 19 人中 11 人が女性ということで、新たに補佐に昇任する過半数を占めている。
- 課長補佐級の女性は、50 人となり、これまでより 7 人増加している。ま

た、その割合は、今年度の 25.6 パーセントから 29.2 パーセントへと増加している。

- 市長部局等の県及び国との人事交流については、県に 2 人、また国の一般財団法人地域総合整備財団に 1 人、そして、内閣府の防災関係に 1 人を派遣することとしており、また、県の方から 1 人来ていただくこととしている。
- 国や県の役所に行く職員については、派遣先で、多くの経験を積み、幅広い知識を習得することを願っている。

2. インクルーシブ遊具のオープニングセレモニーについて

- 道の駅「潮彩市場防府」西側緑地に、インクルーシブ遊具が完成し、オープニングセレモニーを、今週 25 日（土）の午前 9 時から西側緑地で開催する。
- このインクルーシブ遊具は、自治総合センターの宝くじの助成金を活用して整備したものである。
- 当日は、テープカット、風船飛ばしを子どもを交えて行う。
- また、会場にお越しいただいたお子様、先着 100 名には、「メバル公園オリジナル トートバッグ・ウェットティッシュセット」をプレゼントする。皆様のご来場をお待ちしている。

3. 防府天満宮 大石段(おおせきだん) 花回廊について

- 恒例の「防府天満宮 大石段(おおせきだん) 花回廊」が、来月 14 日（金）にお目見えする。
- 今年で 11 回目となるが、元号が平成から令和に変わったときには、花文字を入れ替えて展示し、全国的にも話題となった。

- 今年のデザインは、後日実行委員会から発表があると伺っている。
- 花回廊は、5月14日（日）まで展示される。

4. その他

- 市広報は、4月から毎月1日号のタイトルを「情報ほうふ」とした。
- 4月1日号は、これから広報を強化するにあたり、まずは我々の意気込みを表現したものである。
- 表紙のデザインのように、防府の情報は、皆様への「贈り物」である。おひとりおひとりに、心を込めて、防府の魅力をお届けしていく。